



# エコアクション21 環境活動レポート

(H21. 11. 1~H22. 2. 28)

## 目次

I	環境方針	2
	・ 環境理念	
	・ 環境行動方針	
II	事業概要	3
	・ 事業所及び代表者	
	・ 所在地	
	・ 事業内容	
	・ 環境管理責任者及び事務局	
	・ エコドライブの普及、推進責任者	
	・ 事業規模	
	・ 沿革	
III	組織図	4
	・ 実施体制、責任体制、役割	
IV	環境目標	5
V	環境活動計画	6~8
VI	環境活動の取組結果の分析と評価	9
VII	環境関連法規	10
VIII	代表者による評価と見直し	11

平成 22 年 4 月 13 日

**(株) 榛南自動車学校**

—安全運転の先にはきっといいことがある—

## (株)榛南自動車学校 環境方針

### ● 環境理念

当社は昭和35年に地域住民の強い要望により、榛原町、榛原自家用組合、交通安全協会榛原地区支部の会員多数の出資により、自動車教習所として設置された。

このような背景のもと堅実経営に徹し、個人情報保護法の重視により、DM発送、個別訪問を行わず、教習所の本来あるべき「より良い教習」、「より良い接客」を目指し、クチコミによる生徒(お客様)の獲得を行っております。

また一般ドライバーに対し省エネルギー運転(エコドライブ)の普及を推進するため、エコドライブインストラクターの育成とエコドライブ講習を積極的に行い、人と環境にやさしいドライバーの育成に努めていきたいと考えています。

### ● 環境行動方針

- 1、環境関連法規を遵守します。
- 2、二酸化炭素排出量の削減の推進
  - 事業所内の整理、整頓・清掃・清潔の4S活動を積極的に行い、電気、LPG、灯油の削減とエコドライブの推進・教育によるガソリン・軽油の削減に努めます。
- 3、エコドライブ技術を広く普及させるため、エコドライブインストラクターを増員し、エコドライブ講習を積極的に実施します。
- 4、使用水量の削減に努めます。
- 5、事業所から出る廃棄物を最小限にするため分別処理に努めます。
- 6、社員全員に環境方針を周知徹底、教育を実施することにより活動意欲の向上に努めます。
- 7、物品等は環境負荷の少ない物資の購入(グリーン購入)を促進し資源を有効活用します。
- 8、地域ボランティア活動等に積極的に参加し、協力や支援を行います。

平成21年10月15日制定  
株式会社 榛南自動車学校  
代表取締役 池田 嘉夫



## 事業の概要

### ● 事業所及び代表者

株式会社 榛南自動車学校  
代表取締役 池田 嘉夫

### ● 所在地

〒421-0421  
静岡県牧之原市細江 1731

### ● 事業内容

指定自動車教習所

### ● 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者：水野 悦裕  
EA21 事務局：宮内 正修（副）大石 亨  
連絡先：TEL 0548-22-0272 FAX 0548-22-7180  
E-mail [hainands@lily.ocn.ne.jp/](mailto:hainands@lily.ocn.ne.jp/)

### ● エコドライブの普及、推進責任者

省エネルギー運転(エコドライブ)インストラクター：宮内 正修

### ● 事業の規模

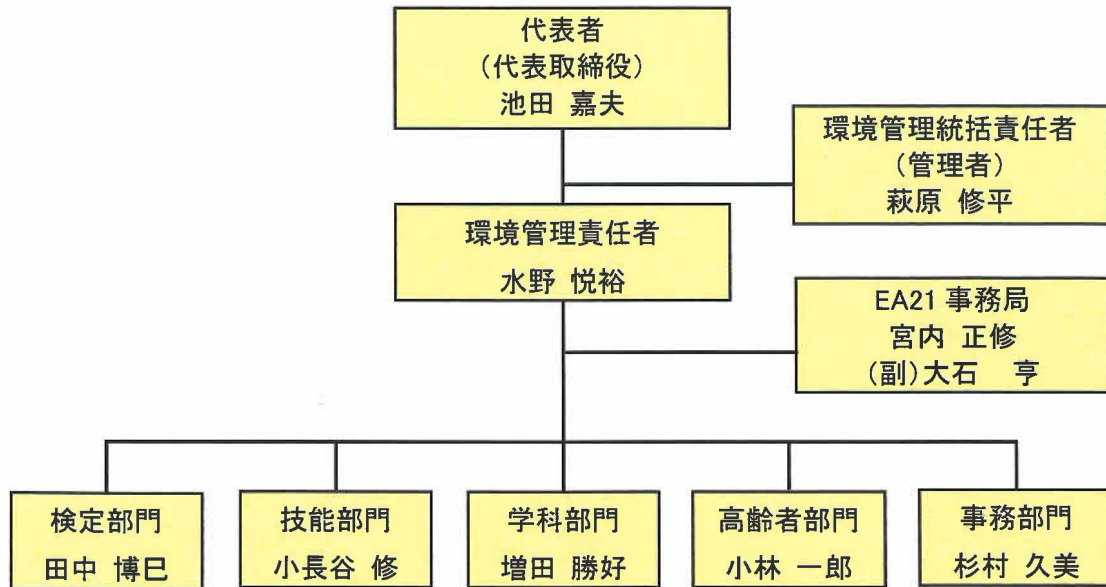
活動規模	単位	H18 年	H19 年	H20 年	H21 年
入校生数	人	1101	943	830	760
売上高	百万円	269.6	252.9	225.6	208.9
従業員	人	34	31	28	26
敷地総面積	(㎡)	19,959.00	19,959.00	19,959.00	19,959.00
コース敷地面積	(㎡)	13,629.00	13,629.00	13,629.00	13,629.00
建物延床面積	(㎡)	1,226.68	1,226.68	1,226.68	1,226.68

### ● 沿革

- 昭和 35 年 2 月 自動車教習所として設置
- 昭和 39 年 12 月 株式会社榛南自動車学校 設立
- 昭和 40 年 9 月 公安委員会の指定を受け「指定自動車教習所」となる
- 平成 2 年 9 月 牧之原市静波より現在の牧之原市細江に移転する
- 平成 2 年 9 月 大型自動車の教習を開始する
- 平成 3 年 6 月 普通二輪の教習を開始する
- 平成 10 年 10 月 高齢者講習を開始する
- 平成 17 年 3 月 大型二輪の教習を開始する

● EA21 実施体制(H.21.11.1 作成)

## 組織図



● 責任体制・役割

各部門の責任者	役割
■ 代表者:(代表取締役) 池田 嘉夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境方針、環境目標の制定</li> <li>・環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備</li> <li>・環境経営システム全体の評価と見直し</li> <li>・社内情報の外部公開可否決定</li> </ul>
■ 環境管理統括責任者 萩原 修平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システム実施、管理の全てを統括</li> </ul>
■ 環境管理責任者: 水野 悦裕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの確立、実施及び維持する為の処置</li> <li>・代表者に対し、環境経営システムの実施状況報告</li> <li>・環境教育、訓練の計画と実施</li> <li>・問題点発生に対する是正及び予防処置</li> </ul>
■ EA21 事務局責任者 宮内 正修 (副)大石 亨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を補佐し、従業員の参画による EA21 の運営改善を推進する。</li> <li>・内部、外部コミュニケーションの推進と管理</li> <li>・EA21 の関連文書の作成、改廃、保管、伝達の業務を推進</li> </ul>
■ 検定部門責任者 田中 博巳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの推進と地域ボランティア活動の参加</li> <li>・電気使用量の削減</li> </ul>
■ 技能部門責任者 小長谷 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の削減</li> <li>・リサイクル部品の活用</li> </ul>
■ 学科部門責任者 増田 勝好	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理、整頓、清掃、清潔(4S)の推進</li> </ul>
■ 高齢者部門責任者 小林 一郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリン、軽油、灯油使用量の管理</li> </ul>
■ 事務部門責任者 杉村 久美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入の推進</li> <li>・節水、LPG、紙消費量の削減</li> </ul>

## 環境目標

弊社の事業年度は、3月～2月で、平成20年度は平成20年3月～平成21年2月を示します。

● 短期環境目標 (H20年度を基準に H21年度は3%削減を目標とする。)

項目	単位	H20年度 基準年度	H20/11～ H21/2	H21/11～ H22/2	H21年度	H22年度
目標		実績	4ヶ月間 実績	4ヶ月間 3%削減	H20年度 3%削減	H21年度 1%削減
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	164243	58015	56275	159316	157723
購入電力	kWh	110,908	34,373	33,342	107,581	106,505
ガソリン	L	37,378	13,174	12,779	36,257	35,894
軽油	L	13,014	5,072	4,920	12,624	12,498
灯油	L	382	382	371	371	367
LPG	kg	145	58	56	141	140
水使用量	m3	795	251	243	771	763
廃棄物排出量 (事務用紙)	kg	425	151	146	412	408
グリーン購入	事務用品、備品等はエコマーク商品の使用を推進する。					
その他の取り組み	エコドライブ講習、ボランティア活動を年3回以上実施する。					

● 中・長期環境目標

H20年度を基準に H21年度は3%、H22年度以降は前年実績の1%削減を目標とする。

項目	単位	H20年度 基準年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
目標		実績	H20年度 -3%	H21年度 -1%	H22年度 -1%	H23年度 -1%
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	164243	159316	157723	156146	154585
購入電力	kWh	110,908	107,581	106,505	105,440	104,386
ガソリン	L	37,378	36,257	35,894	35,535	35,180
軽油	L	13,014	12,624	12,500	12,375	12,251
灯油	L	382	371	367	363	359
LPG	kg	145	141	140	139	138
水使用量	m3	795	771	763	755	747
廃棄物排出量 (事務用紙)	kg	425	412	408	404	400
グリーン購入	事務用品、備品等はエコマーク商品の使用を推進する。					
その他の取組	エコドライブ講習、ボランティア活動を年3回以上実施する。					

## 環境活動計画

● 実施期間：平成21年11月1日～平成22年2月末までの4ヶ月間

### 1、二酸化炭素排出量の削減(低酸素社会への対応)

#### ■電力の削減(担当責任者:田中博巳)

##### ●実施項目:

- ① 事務所内、指導員室の蛍光灯は、反射板を取り付け半分点灯する
- ② エアコンの設定温度は季節ごとに変え使いすぎない。(夏 25℃・冬 23℃)
- ③ クールビズ、ウォームビズを推奨する
- ④ 使用していない教室・トイレは消灯する



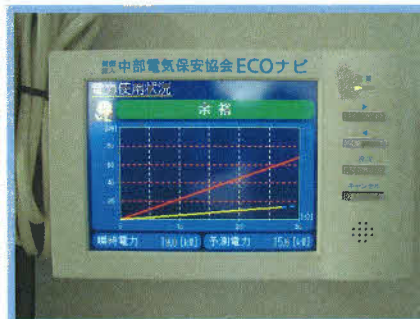
反射板取り付け(蛍光灯の間引き)



光っている部分が反射板



温度設定を各パネルに表示



デマンド監視装置設置

#### ■ガソリン・軽油の削減(担当責任者:小林一郎)

##### ●実施項目:

- ① エコドライブの周知
  - (ア) ガソリン、軽油の使用量は入校生の状況により増減するが、エコドライブを推進することを教習の中に取り入れていく
  - (イ) ふんわりアクセル「eスタート」
  - (ウ) 加減速の少ない運転
  - (エ) 早目のアクセルオフ
  - (オ) エアコンを控えめにする
  - (カ) アイドリングストップ
  - (キ) 暖機運転を適切に行う
  - (ク) 不要な荷物は降ろす
  - (ケ) タイヤの空気圧をこまめにチェックする

■灯油の削減（担当責任者:小林一郎）

●実施項目:

- ① 暖房用ストーブは、室内の温度に応じて消火する

■LPG の削減

●実施項目:

- ① 給湯器、ガスコンロ使用時は必要以上に火力を上げない

2、水使用量の削減（担当責任者:杉村久美）

●実施項目:

- ① トイレ、給湯室に表示をする
- ② 節水こまの設置
- ③ 洗車時不要な水は使わない



給湯室、トイレへ掲示



節水こまの取り付け



洗車ノズルによる洗車



水道使用を制限中

3、廃棄物の削減及び再資源化の推進（担当責任者:小長谷修）

●実施項目:

- ① 印刷プレビューによるミスプリントの防止
- ② コピー用紙の両面使用を徹底する
- ③ 社員のゴミの持ち帰り(食事などのゴミは自宅へ持ち帰り処分する)
- ④ 会議用資料(紙使用量)を減らすよう全職員に徹底
- ⑤ 資源ごみ(ミックスペーパー)は契約したリサイクル業者に回収してもらう



コピー機を入れ替え、  
両面コピーが可能に！



ミックスペーパー(資源ごみ)は  
「まーくんのごみばこ」へ

#### 4、グリーン購入の推進 (担当責任者:杉村久美)

●実施項目:

- ① 事務用品、備品等は環境に配慮した商品(エコマーク商品)の使用を推進する



資源ごみ(紙ごみ)



リサイクルパルプの購入

#### 5、その他の取り組み (担当責任者:田中博巳)

●実施項目:

- ① 年間3回以上の「エコドライブ講習」実施
- ② 年間1人以上の「エコドライブインストラクター」を養成する
- ③ 海岸清掃など、年間3回以上の「ボランティア活動」に参加する



エコドライブ講習



河川の清掃

## 環境活動の取組結果

■平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日の 4 ヶ月間					
項目		4 ヶ月目標	4 ヶ月結果	前年比	達成状況
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	56275	52867	-3408	○
購入電力	kWh	33,342	35,659	+1,865	×
ガソリン	L	12,779	11,962	-817	○
軽油	L	4,920	4,288	-632	○
灯油	L	371	72	-299	○
LPG	kg	56	61	+5	×
水使用量	m3	243	264	+21	×
廃棄物排出量 (事務用紙)	kg	146	121	-25	○
グリーン購入	事務用品、備品等はエコマーク商品の使用を推進する。				
その他の取組	エコドライブ講習、ボランティア活動を年 3 回以上実施する。				

## 結果の分析と評価

項目	分析と評価
二酸化炭素排出量	目標数値より 3408 Kg-CO2 の減少である。電力、LPG 以外のガソリン、軽油、灯油、使用量が減少したため二酸化炭素排出量が削減された。
購入電力	目標数値より 1,865 kWh の増加となった。デマンド監視装置の設置で管理をしているが、気温が低かった為、夕方から夜間にかけてエアコン(暖房)の使用量が多かった事が原因と考えられる。
ガソリン	目標数値より 817 L の減少である。教習車の稼働率にもよるが、エコドライブ(特にアイドリングストップ)の実践が要因である。
軽油	目標数値より 632 L の減少である。特に送迎バスの給油が少なく、エコドライブの実践が要因である。
灯油	目標数値より 299 L の減少である。こまめに温度調節をした結果であると思われる。
LPG	目標数値より 5 kg の増加となった。給湯器(お湯)を使っでの食器洗浄などが原因と思われる。
水使用量	目標数値より 21m3 の増加となった。洗車ブラシによる洗車が無駄な水を使っていると考えられる。
廃棄物排出量 (事務用紙)	目標数値より 25 kg の減少である。両面コピーによる紙の使用量が減った事、職員のごみの持ち帰りが要因である。
グリーン購入	事務用品、備品は、エコマーク商品を積極的に購入した。
その他の取組	エコドライブ講習 1 回、ボランティア活動を 2 回実施できた。

## 環境関連法規

### ● 環境関連法規遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。尚、関係当局よりの違反の指摘は、過去3年間ありません。

平成22年3月遵守状況

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況確認 (誰が、いつ)
道路交通法	環境に配慮した教習	田中博巳 3/25 ○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	許可業者への委託	宮内正修 3/25 ○
使用済自動車の再資源化に関する法律 (自動車リサイクル法)	教習車の廃棄処分	小長谷修 3/25 ○
特定家電用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	テレビ、冷蔵庫など 指定家電の廃棄処分	宮内正修 3/25 ○
浄化槽法	浄化槽保守点検(第10条) 第11条検査の実施	水野悦裕 3/25 ○
消防法	消火器設置、維持管理、 危険物の取り扱いと保管	水野悦裕 3/25 ○

### ● 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、地域住民等利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

## 代表者による評価と見直し

当社では4ヶ月間環境活動を取り組んできた結果、二酸化炭素排出量を3408 Kg-CO<sub>2</sub>削減する事が出来た。

しかし、デマンド監視装置の設置や蛍光灯に反射板を取り付けるなどの努力をしたものの、電力量が増加してしまった事は予想外の結果であった。気温にもよるが、夜間のエアコン使用が大きく影響したと思われる。また、「水使用量」については洗車方法を変更するなどして対策を講じた。すべての目標を達成することは大変な事であるが、職員一人一人の意識や意欲を更に向上させ今後も目標達成に向けて取り組み、自動車学校(教習所)業界でのリーダー的な立場となって、環境活動を広めていきたい。

### ■今後の取り組み

卒業時に「エコドライブ講習」の案内を配布するなど、「エコドライブ」の推進強化や、女性職員によるエコアクションの取組として、「エコアクション女性部」を社内に設けるなど、女性ならではの発想を活かした環境活動の取り組みを行いたいと考えている。また、更なる地球環境保護のため、「コンポスト」利用や「グリーンカーテン」の検討もしたい。

株式会社 榛南自動車学校  
代表取締役 池田 嘉夫